

赤れんが

第14号

- 特集「専門外来」
- 院内トピックス
- Q&A
- 診療案内他

理念

鳥取県立中央病院は、県の基幹病院として良質で思いやりのある医療を提供します。

方針

- 私たちは、急性期の高度・特殊医療をおこないます
- 私たちは、地域の人たちの安心・安全のため、救急医療に取り組みます
- 私たちは、地域の医療機関との連携強化に努めます
- 私たちは、地域の人々が納得される医療を行います
- 私たちは、組織人としての役割を遂行できるよう、研修・研鑽します



新型インフルエンザ訓練の様子

「産婦人科診療における当院の役割」

鳥取県立中央病院

医療局長 兼
周産期母子センター長

皆川 幸久

産婦人科関連の医療事故の話題、一方では全国的な産科医不足の話題が連日のように取り上げられています。当院の産婦人科スタッフはこのような逆風にめげず、地域の患者さんに安心して産婦人科診療を受けていただけるよう、前向きに日夜努力しています。

産婦人科診療の守備範囲

「分娩は重要であるが、それだけが産婦人科診療ではない」

産婦人科と一言にいいますが、その診療範囲は予想外に広く、診療の内容は多岐に渡っています。産婦人科の学問体系は、欧米では Obstetrics and Gynecology、本邦では産科学、婦人科学と多少の重複はあるものの、元々はかなりの異質の2つの領域から成り立っています。この内、産科学は妊娠・分娩の生理学と病理学であり、妊娠後期から新生児時期の医療を取り扱う周産期医学がその中心となりますが、一部は不妊診療に代表される生殖医学も含まれてきます。一方、婦人科学は女性固有の疾患を取り扱う学問体系であり、主に女性生殖器に発生する腫瘍を取り扱います。また、女性には一生涯の中で生殖機能の獲得（初

経）と消失（閉経）という一連の内分泌現象があり、それに伴って妊娠以外にも様々な病態を生じてきます。これらの内分泌異常も婦人科診療に含まれます。

女性の一生は、卵と精子の結合に始まり、胎児期、新生児期、小児期、思春期、性成熟期、更年期、閉経期、老年期と経過します。その間に生じる様々な異常をすべて取り扱っていくのが産婦人科診療と理解していただければ幸いです。そのような意味から最近では産婦人科という呼称を廃止して、女性診療科を標榜する施設も出てきました。

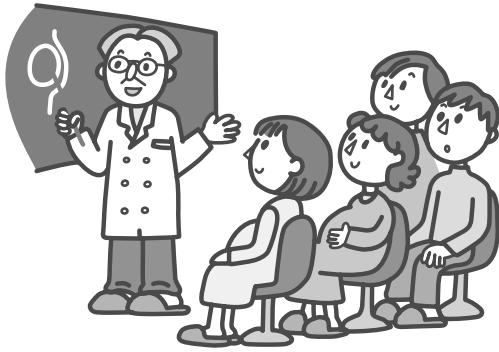
当院では、種々の専門外来を設置して、それぞれの専門医が患者さんの多種多様なニーズに対応しています。集学的な先端医療の提供とともに患者さんにわかりやすい医療を目指しています。

今回の特集では、鳥取県東部医療圏の産婦人科診療における当院の役割について、専門外来を中心に紹介したいと思います。



当院の産婦人科診療の概要

産科・周産期外来では、一般の妊娠・分娩に加えて、県内外からハイリスク妊婦の他施設からの搬送に24時間体制で対応しています。婦人科腫瘍外来では、早期癌に対する機能温存療法、進行癌に対する手術・化学療法等の集学的治療を行っています。不妊外来では、体外受精・顕微授精などの不妊領域の先端医療、子宮内膜症や原因不明不妊に対する腹腔鏡検査を行っています。女性内分分泌外来では思春期から性成熟期、更年期に至る様々な女性ホルモンの異常による女性固有の病態、子宮内膜症に対応しています。



●産科・周産期外来

担当責任医師：池野 慎治
【産婦人科専門医】

加速度的に進行する少子化現象は、我が県において特に深刻な問題となっています。

その原因の一端を担う出産年齢の高齢化現象もあり、周産期領域における母体・胎児管理に要求される医療水準は非常に高いのが現状です。当院は県東・中部において唯一のNICU保有機関として、産科と小児科で周産期母子センターを構築しています（地域周産期母子医療センター）。低出生体重児を始めとする異常新生児搬送、ハイリスク妊婦あるいは胎児異常のための母体搬送の受け入れを24時間体制で行っています。

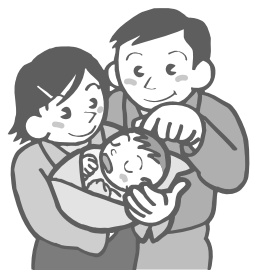
お産難民を作らない、地域の妊婦さんが安心して分娩できるよう万全の体制を整えることを心掛けています。（当面、新生児科医の整備体制から、妊娠28週未満の妊婦さんで分娩が切迫しているが母体搬送による時間には余裕があると判断される場合には、総合周産期母子医療センターである鳥取大学医学部附属病院に救急搬送させていただく場合があります。その場合は当院の産婦人科スタッフが付き添います。もちろん母体自身の緊急疾患はすべて当院で対応します。ご理解をお願いいたします。）

特集 産婦人科 専門外来

中央病院には様々な専門外来があります。今回は産婦人科における専門外来の取り組みについて特集しました。

●婦人科腫瘍外来

担当責任医師：皆川 幸久
【産婦人科専門医、婦人科腫瘍専門医、細胞診専門医、超音波専門医、がん治療認定医】



専門医（学会認定の婦人科腫瘍専門医）の配置は県東・中部で当院のみが先進的にかつ標準的な婦人科悪性腫瘍の診断と治療を行います。

子宮頸がんの前がん病変や初期がんは若年層で高頻度に見られます（上皮内がんを含めると20歳代では乳がんの数倍）。そのため子宮がん健診の対象者が20歳以上に引き上げられ、また妊婦検診における子宮頸部細胞診の公費負担がなされました。その影響もあり、前がん病変や早期子宮頸がんに対する妊孕性温存（子宮を温存して妊娠・分娩ができること）を中心とした機能温存手術療法を行う例が増加しています。一方、がん検診未受診者を中心とした進行がんの患者さんも少なからず存在します。当院では子宮頸がん・体がんに対する化学療法と手術適応の拡大、卵巣癌に対する他臓器合併切除等、進行した婦人科悪性腫瘍例に対して集学的治療を行っています。また、良性腫瘍を中心とした腹腔鏡下手術にも積極的に取り組んでいます。

●不妊外来

担当責任医師：大野原 良昌
【産婦人科専門医、生殖医療指導医】

専門医（学会認定の生殖医療専門医の配置は県東・中部で当院のみ）が先進的にかつ標準的な不妊治療を行います。当院はIVF（assisted reproductive technology）の環境として、体外受精・顕微授精（凍結胚移植を含む）などの不妊領域特に難治性不妊の先端医療を提供しています。不妊原因として注目されている子宮内膜症例や原因不明不妊例に対して、積極的に腹腔鏡検査・鏡視下手術を取り入れ、不妊相談センターとしての機能も果たしています。

●女性内分分泌外来

担当責任者：大富 順恵
【産婦人科専門医、内分分泌科専門医】

専門医（学会認定の女性内分分泌謝の専門医）の配置は県東・中部では当院のみが先進的にかつ標準的な女性内分分泌疾患の診断と治療を行います。思春期の月経異常、性成熟期女性の子宮内膜症や月経前症候群、更年期障害など女性固有のホルモンに関連した疾患を取り扱っています。この分野では、患者さん1人1人に合わせたオーダーメイド医療が要求されますので、当専門外来では1人の患者さんに十分な時間をとり、満足のいく診療に取り組んでいます。そのため一日に対応させていたただく患者さんの数は制限させていただいています（完全予約制）。

診療科名が変わります

医療法施行令が改正され、病院が標榜できる診療科名が変わりました。また、当院の担うべき医療を分かりやすくするため、センター組織の一部を変更しました。変更した診療科名とセンター名は次のとおりです。

循環器科	⇒	心臓内科
耳鼻咽喉科	⇒	耳鼻いんこう科
検査科	⇒	病理診断科と臨床検査科に区分
呼吸器科、消化器科	⇒	内科に集約
周産期センター	⇒	周産期母子センター
地域医療連携室	⇒	地域連携センター
総合健診センター	⇒	健診室
腎センター	⇒	血液浄化室

◆ 病児・病後児保育室 「キッズルーム・スマイル」設置

21年度より院内に病児・病後児保育室が設置されます。

「病気の回復期で保育園に行くにはまだ心配。でも仕事は休めない。」こんな時にお子さんをお預かりします。中央病院職員が対象ですが、職員の生活と仕事を支援することで、よりよい医療の提供に役立ちたいと思います。公募で「キッズルーム・スマイル」と名前が決まりました。看護師1名と保育士2名がお子さんの笑顔をサポートします。



中央病院では看護師を随時募集中です。
私たちと一緒に働きませんか？

Q&A コーナー

患者様、県民の皆様からの質問、疑問、意見に対してお答えします。多くのご意見をお待ちしています。

「非紹介患者加算」

の改定について

平成21年4月1日より「非紹介患者加算」の料金を改定させていただきます。ご理解ください。よろしくお願いいたします。

院内トピックス

新型インフルエンザ実動訓練

新型インフルエンザ実動訓練

平成21年2月15日、東京一鳥取便の機内に新型インフルエンザ疑いの乗客がいるという想定で、鳥取県として初めての大規模な実動訓練が行われました。感染症指定医療機関である当院は、対策本部の立ち上げから2名の患者様の受け入れまでの訓練を行いました。この訓練をとおして発熱外来の設置方法などマニュアル化し、県内の新型インフルエンザ発生早期に対応することができる体制が整いました。

＜鳥取県からのお知らせ＞

県内発生早期には、感染の拡大を遅らせ、医療体制を確保する事が重要です。新型インフルエンザが疑われる場合は、直接かかりつけの病院を受診するのではなく、まず各保健所に設置される「発熱相談センター」へ電話で相談していただきますようお願いいたします。



Q. 非紹介患者加算って何ですか？

A. 他の病院や診療所からの紹介状をお持ちでない初診の患者様に、健康保険が適用となる本来の医療費とは別に負担をいただくものです。（救急車で搬送された方や各種公費負担医療の対象となる方は除きます。）

Q. なぜ、このような料金を設定しているのですか？

A. 体の具合が悪くなった時、「大きな病院で検査・診察してもらったほうが安心」ということで、すぐに病院を受診される患者様が少なくありません。当院では、日常的な検査や治療は地域の診療所（かかりつけ医）が担当し、専門的な検査、入院治療は病院が担当するという役割分担を進めています。「非紹介患者加算」は、こうした役割分担を推進するために国が認めた料金です。

Q. 料金を改定する理由を教えてください

A. 症状の軽い患者様が集中されますと、長時間の外来診療により医師の疲弊を招き、ひいては、医師不足へと繋がりがねないと考えております。また、専門医や高度機器などの限られた医療資源を効率的に活用するため、4月より料金を2,625円（2,500円＋消費税）に改定することで、地域の診療所（かかりつけ医）との機能分担をより一層推進するためです。

鳥取県立中央病院

外来診療案内

(平成21年 4月1日～)

外来診療受付時間 8:30～11:00

(紹介状のない場合 8:30～10:00)

※外来は基本的に予約制です。

予約に関する変更・お問い合わせは午後2時から受け付けます。

※緊急手術等で担当医が変更になることもあります。

面会時間 13:00～20:00

名称	月	火	水	木	金
内科	清水	小村	村尾	澄川	浦川
	杉本	岡本	田中究	柳谷	前田
	榑崎	榑崎	田中孝	村尾	清水
	岡本	田中孝	前田	小村	杉本
	田中究		武田	山本寛	
	澄川	柳谷	山崎	吉野(懸樋)	北浦
心臓内科	陶山	浦川	陶山	榑崎	榑崎
	那須	遠藤	菅	吉田	菅
	吉田	吉田	吉田	遠藤	那須
神経内科		那須			遠藤
	中安	浅井	中安	浅井	房安
精神科	房安			中安	中安
	松林	松林	松林	松林	松林
小児科	宇都宮	星加		神田	木下
	宮原史	戸川	常井	細田	宮原直
	星加		星加	戸川	
外科・小児外科	福本	澤田	清水	大井	中村誠
整形外科	山本哲	服部	山本哲	村田	山本哲
	村田	山本真	山本真	下雅意	村田
	下雅意				服部
形成外科	坂井		坂井		坂井
脳神経外科	田淵	宇野	田淵		田淵
胸部外科	前田	谷口		森本	
		西村		宮坂	
泌尿器科	渡邊	根本	交替	根本	瀬島
皮膚科		眞砂	眞砂	眞砂	
	河上	河上	河上	河上	河上
産婦人科	皆川	大野原	池野	岡田	大畠
	岡田	大畠	皆川	大野原	皆川
	池野	岡田	大畠	池野	大野原
眼科	伊藤	富長	伊藤	富長	富長
耳鼻いんこう科	竹内	竹内	鈴木	竹内	松尾
	鈴木(午後)	竹内(午後)			鈴木
放射線科	藤原	中村-	中村-	足立	藤原
口腔外科	倉立	倉立	倉立	倉立	倉立
	沖	沖	沖	沖	沖
人間ドック	根本	杉本	根本	田中孝	陶山

専門外来等

名称	曜日	担当医
ペースメーカー	水・午前	心臓内科(菅)
アトピー	水・午後	皮膚科(河上)
リウマチ	金・午前	整形外科(山本哲)
アレルギー・花粉症	月・午後	耳鼻科(鈴木)
更年期	金・午後	産婦人科
小児肝炎	月・午後	小児科(星加)
発達	金・午後	小児科(戸川)
不妊症	月・水・金 午後	産婦人科(大野原)
産科・周産期	月・水 午後	産婦人科(池野)
婦人科腫瘍	水・午後	// (皆川・岡田誠)
女性内分泌	金・午後	産婦人科(大畠)
加齢黄斑変性	月・火・木 午後	眼科(伊藤)
思春期外来	月・午後	精神科(松林)
もの忘れ	火・午後	精神科(松林)
睡眠障害外来	水・午後	精神科(松林)
口腔外科腫瘍	第2,第4 月,(水)	口腔外科
緩和ケア	月・午後	内科(中村・浦川)

※ 眼科の初診は、紹介状が必要となります。

その他の科の場合も、できるだけ紹介状をご持参下さい。

「非紹介患者加算」の改定について

当院は、地域の診療所(かかりつけ医)との連携・機能分担を目的に、紹介状をお持ちにならずに来院された初診の患者さんについては、「非紹介患者加算」として別途料金をご負担いただいておりますが、県の基幹病院として地域の「かかりつけ医」との機能分担をより一層推進し、専門医や高度機器などの医療資源を効率的に活用したいと考えております。

については、平成21年4月1日より下記のとおり料金を改定させていただきますのでご理解くださいようお願いいたします。

現行料金 1,575円 → 改定料金 2,625円

バス時刻表 鳥取駅バスターミナル～中央病院 約15分 (平成21年 4月～)

中央病院行き (鳥取駅発時刻)	13	10, 50	鳥取駅行き (中央病院発時刻)	13	40, 57
	14	30		14	20, 55
7	20, 40, 50	15	10	7	51
8	00, 05, 20, 30, 50	16	00, 40	8	25, 26, 31, 40, 46
9	20, 50	17	33	9	05, 15, 31, 50
10	00, 20, 45	18		10	30, 53
11	10, 30	19		11	10, 55
12	20, 35	20		12	40, 55

発行 鳥取県立中央病院 (〒680-0901 鳥取市江津730) 院長 武田 伸

電話 0857-26-2271 ファックス 0857-29-3227

ホームページ: <http://www.pref.tottori.lg.jp/chuoubyouin/>

E-mail: chuoubyouin@pref.tottori.jp

地域連携センター・がん相談・医療相談

平日 8:30～17:00

電話(直通) 0857-21-8501

FAX(直通) 0857-21-8507

E-mail: chubyo-chiren@pref.tottori.jp

